



# JAC北九だより

NO.56 (平成23年第2号)

社団法人 日本山岳会 北九州支部  
Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行: 社団法人日本山岳会北九州支部  
事務局: 北九州市門司区新原町12-27  
関口興洋方  
TEL・FAX 自宅 093-382-6436  
携帯 090-8919-6776  
発行人: 大庭常生  
編集人: 伊藤久次郎・関口興洋  
印刷: 山口県山口市氷の上町2-25  
内藤製本所

平成23年4月6日

## 東日本大震災の被災者、会員の救援に義援金のお願い

日本山岳会北九州支部 支部長 大庭常生

このたびの東日本大震災により、被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復興されますよう、心よりお祈り申し上げます。

この事態に対処すべく北九州支部では、JAC本部会長の方針に沿って、義援金を募集することにいたしました。賛同頂ける方は、下記の「日本山岳会震災救援募金委員会」の口座へ、ご厚志を振り込みくださいますようお願い申し上げます(現金書留を含め郵送はお控えください)。また、4月23日の北九州支部通常総会でも、募金箱を設置いたしますので、よろしく申し上げます。

### 【義援金振込先】

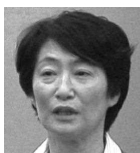
\*「ゆうちょ銀行」から「ゆうちょ銀行」に送金する場合

総合口座(記号10050) 番号73313881 加入者名「日本山岳会震災救援募金委員会」

\*「他の金融機関」から「ゆうちょ銀行」に送金する場合

店番008 普通預金 口座番号7331388 加入者名「日本山岳会震災救援募金委員会」

(恐縮ですが振り込み手数料は各自でご負担下さい)



野口いづみさん

## 寝袋や 卓上コンロを

野口いづみさんから、救援の呼びかけ

北九州支部事務局

JAC本部の尾上会長から義援金募集のお願いがきていますが、別途2007年4月の第8回通常総会の折、記念講演をしていただいた野口いづみさんから、釜石の知人を通じて現在不足している物資の支援を依頼されました。

### <3月末時点で不足しているもの>

- ・寝袋とマット
- ・卓上カセットコンロ(ガスが復旧していないため)
- ・卓上カセットコンロ用のガスカートリッジ
- ・ローソク
- ・乾電池(懐中電灯用)
- ・水の要らないシャンプー
- ・副食用の缶詰

### <救援物資送付先及び電話番号>

〒026-0031 釜石市鈴子町22-1

釜石市災害対策本部

釜石市災害対策本部連絡携帯090-8920-2730  
(固定電話は復旧していない)

### <送付手段>

郵パックは受付停止中。くろねこヤマトは受付中、但し5日~10日要するとのこと。

遠隔地に住んでいるわれわれとしては、被災者に援助の手を直接差しのべることはできませんが義援金の応募のほかに、現地で手に入りにくい物資の支援をすることで少しでもお役に立てればと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 2011年度 第12回通常総会のお知らせ

### 記念講演は、冬季アラスカ山脈登山の第一人者 栗秋正寿氏

- と き 平成23年4月23日(土)  
 ○ と ころ ブルーウェーブイン小倉  
 TEL 093-531-4000  
 北九州市小倉北区浅野2-14-65  
 (小倉駅新幹線口から徒歩3分)
1. 受付 午後2時から
  2. 総会 午後3時00分～午後4時
  3. 記念講演 午後4時00分～午後5時30分  
 講師 栗秋正寿氏  
 演題 「アラスカ 垂直と水平の旅」  
 (懇親会まで図書販売とサイン会)
  4. 懇親会 午後6時～午後8時
  5. 会費 1人 5,000円(懇親会費)
  6. 締め切り 出欠の返事は、案内状同封のハガキで  
 4月20日(水)まで必着のこと。
  7. 問い合わせ 事務局 関口興洋まで  
 (TEL/FAX 093-382-6436)

#### 講師 栗秋正寿 氏の略歴

- 1972年 福岡県生まれ  
 1995年7月 九州工業大学大学院在学中に山岳部の仲間と北米大陸最高峰のマッキンリーに登頂。  
 1998年3月 冬のマッキンリー(6,194m)登頂(冬季単独は世界で4人目、史上最年少)。下山後、リヤカーを引いてアラスカ縦断1,400キロを旅する。  
 2007年 フォレイカー(5,304m) 冬季単独登頂(冬季単独は世界初)。アラスカ三山のハンター(4,442m)に、2003年以降、5度冬季単独登頂をトライしているが、悪天候に阻まれ断念。  
 2010年 「植村直己冒険賞」を受賞



#### 九州5支部集会へのご案内

- と き: 2011年6月4日(土)～5日(日)  
 と ころ: 阿蘇いこいの村 TEL 0967-34-2151  
 主 管: 熊本支部  
 日 程: 6月4日(土)九州5支部集会  
 受付: 午後1時  
 開会: 午後3時  
 熊本支部長、本部役員挨拶  
 各支部からの近況報告(5～6分)  
 講演: 「日本山岳会が目指してきたこと」  
 (講師は本部に依頼中)  
 閉会: 午後5時  
 懇親会: 午後6時～  
6月5日(日)記念山行  
 ① 杵島岳・往生岳登山後、馬の背、高塚を経て「いこいの村」へ。行動時間 約4時間、「いこいの村」で入浴後解散。  
 ② 観光コース(阿蘇の魅力さをさるく)  
 参加費: 12,000円(宿泊・懇親会費・朝食・弁当込み。弁当不要の方は500円引き)  
 6月4日の会場受付で支払い手続きをする。  
 申し込み: 各支部で取りまとめのうえ申し込むよう要請されています。北九州支部事務局へ5月10日までに申し込んでください。  
 関口 FAX/FAX: 093-382-6436  
 山田 FAX/FAX: 092-844-3563

#### 自然保護全国集会のご案内

- と き: 2011年6月11日(土)～12日(日)  
 と ころ: 福岡市中央区天神「西鉄イン福岡」  
 TEL 092-712-5858  
 主 管: (社)日本山岳会自然保護委員会  
 同 福岡支部  
 日 程: 6月11日(土)午前9時受付、開演9時30分  
 午前 ◎各支部の活動報告  
 午後 テーマ「エコツーリズムと屋久島」  
 ◎講演「エコツーリズムとはなにか」  
 広瀬敏通(日本エコツーリズムセンター代表理事・ホールアース自然学校代表)  
 ◎パネル・ディスカッション  
 「これからの屋久島を考える」  
 伊藤秀三(日本ガラパゴスの会会長、長崎大学名誉教授)  
 広瀬敏通(前に同じ)  
 井上晋(福岡支部自然保護委員、元九州大学助教授)  
 太田五雄(福岡支部・屋久島在住)  
 山川陽一(自然保護担当理事、世界自然遺産プロジェクトリーダー)  
 (進行)山本博(福岡支部自然保護委員)  
 ◎懇親会 18:30～20:30  
 6月12日(日)宝満山登山、四王寺歴史散策  
 参加費用 1泊2日 17,000円  
 北九州支部事務局を通じて5月10日まで。  
 関口 FAX/FAX: 093-382-6436  
 山田 FAX/FAX: 092-844-3563

## 平成23年度 山行計画(案)

北九州支部

月	期 日	山 名	内 容	リーダー	レベル
平成23(2011)年					
4月	17日(日)	陶ヶ岳	岩登り訓練	板倉、竹本	岩登り初級
5月	1日(日)	雷山～井原山縦走	ミツ葉ツツジ観賞	山田、榊	中級
”	14(土)～16(月)	韓国 智異山	室津健次氏追悼登山	山田、関口	中級
”	28(土)～29(日)	英彦山	山開き	日向、高畠	初級
”	28(土)～29(日)	吾妻山～比婆山	広島支部との交流	内藤	中級
6月	4(土)～5(日)	5日、杵島岳・往生岳	九州5支部集会和 記念山行(熊本支部主管)	山田、関口	初級
7月	23(土)	犬ヶ岳～求菩提山縦走	歴史散策	丹下、椋本	中級
8月	フリー月	富士山、北アルプス他	各位が、好きな山を登る自由な月間とする。		
9月	17(土)～18(日)	九重連山一法華院温泉	一斉登山(「山の日」アピール登山と森林保全巡視事業)		
		長者原		大内	中級
		牧の戸		竹本	中級
		赤川		中岡	中級
		吉部		西村	中級
		沢水(そうみ)		椋本	中級
10月	25日(火)	金山(花乱の滝～坊主ガ滝)		榊、赤瀬	中級
11月	5(土)～6(日)	緩木岳～越敷岳縦走	宮崎ウェストン祭	山田	中級
12月	10日(土)	皿倉山	忘年会	横山、関口	初級
平成24(2012)年					
1月	24日(火)	鶴見岳	新年登山	原、大内	中級
2月	10(金)～13(月)	大山	冬山登山	板倉	中級
3月	25日(日)	英彦山	山岳関係保全事業 清掃登山	中岡、濱松 竹本(加)	中級
4月	15(日)	平尾台(鬼の唐手岩)	岩登り訓練	板倉、竹本	岩登り初級
5月	26(土)～27(日)	英彦山	山開き	日向、高畠	初級

## 海外登山・遭難対策研究会に参加

福岡県山岳連盟主催

福岡県山岳連盟主催で平成22年度海外登山・遭難対策研究会が本年3月6日(日)、北九州市戸畑区の「ウェル戸畑」で開催された。JAC北九州支部からも板倉健一、伊藤久次郎、舛木隆、高島拓生、藤田傳、竹本正幸の6人が参加、県山岳連盟について少しながら雰囲気を感じ、岳連の皆さんとも交流を深めることができた。

研究会のあいさつで、足達敏則会長(JAC福岡支部)は、山に登るには、準備や訓練が必要である。登山は知らない土地に行って挑戦するのだから、遭難という危険もある。海外の山に登るには十分な情報が必要である。最近では公募登山といってお金と体力があれば、それなりの山に登れる。それも良いかもしれないが、何も知らないで、ただついて行っただけでは、何か寂しい気がする。できればこの研究会を通じて自分で山を見つけ出し、自分の足で一歩を踏み出してほしいと思う。今日の体験談を聞いて、一つの参考にしてほしい。また、県山岳連盟では、数年後に海外遠征隊を出したいと考えている。遭難対策では、山は遭難と隣り合わせであり、遭難の現実をしつかり見つめて、いかなる事案にも対処できるように知識や技術をしっかりと身につけておく必要があると思う。今日の研究会で多くの情報を得て今後の海外登山や遭難対策の参考にしてほしい、と語った。



チベットの登山事情について報告する福岡支部の渡部秀樹氏

続いて、菊澤眞一郎海外担当理事の司会で、海外登山について次の3氏から報告。

○「タスマニアの山」

北九州市役所山岳部OB 花田拓二氏

○「ネパール・チュルー西峰登山隊2010」

小倉山岳会 詫間 悟氏

○「チベットの登山事情」

福岡登山会 渡部秀樹氏 (JAC福岡支部)

このあと、遭難対策担当の鴨粕 徹氏から、遭難対策研究会資料の説明があったあと、懇親会でお開きとなった。(伊藤久次郎)

## 映画「氷壁」を上映

本年2月11日、小倉北区の北九州商工会議所ホールで、映画「氷壁」を上映した。

昨年10月、北九州支部創立10周年記念式典に日本山岳会尾上会長を講師に招いて、映画「氷壁」のモデルとなった「ナイロンザイル事件」の話をしていただいた際に、会長から頂いたDVDを上映したものの。人数限定で一般の人にも新聞で呼びかけ、約150人が観賞した。

### 訃報

坊がつる讃歌作詞者の

## 松本徂夫先生急逝！

2008年4月19日の第9回通常総会の終了後、記念講演をして頂いた松本徂夫先生(日本山岳会元福岡支部長、永年会員)が3月30日急逝されました。享年82歳。

先生は地質学者、探検家として内外でご活躍されましたが、晩年はチベットのカンリガルポ山群の踏査に精魂を傾けられ2007年「ヒマラヤの東 カンリガルポ山群 踏査と探検史」を出版されました。この功績により日本山岳会の「秩父宮記念山岳賞」を受賞されました。

また、お酒が大好きで「坊がつる讃歌」の作詞者としても有名ですが、3年前の懇親会の折にも支部の女性会員に囲まれて楽しそうに歌っておられたお姿が目には浮かびます。

4月1日、葬儀が福岡市で執り行われましたが、会場には「坊がつる讃歌」が静かに響き、JAC本部から自然保護担当の山川理事、関西支部の重廣支部長、東九州支部の梅木支部長、熊本支部の工藤支部長、福岡支部の副島支部長、北九州支部の大庭支部長、法華院の弘藏院主、九重の自然を守る会の嶋田会長ほか山の関係者が多数参列し、最後のお別れも会葬者が全員で「坊がつる讃歌」を歌い先生をお見送りいたしました。

先生のご冥福をお祈り申し上げお別れのご挨拶いたします。

合掌

(関口興洋)

(北九州支部からは、大庭常生、伊藤久次郎、高島拓生、関口興洋、山田武史の5人が葬儀に参列しました)

## 月例山行

2月20日(冠山を変更)

とくさがみね  
十種ヶ峰冬山訓練

No.14523 紳 俊一

平成22年度の冬山訓練は、広島県の冠山かんむりやまの予定から九重のテント泊訓練に変更されたが、雪が多く四駆の冬用タイヤ装着車でないと通行できないとのことで、3度、山口県の十種ヶ峰(とくさがみね)988.8mの日帰り登山に変更になった。

22年2月20日(日)に行橋組、田川門司連合組、下関組、山口組と我々筑豊、糟屋、古賀連合組の車がルートは各自別々で、山口市

いです。

315号の途中から登山口の表示があるところを右折していくと、十種ヶ峰登山口の表示されているところがあり、その少し先の左側に3~4台分の駐車スペースに3台の車が駐車して登山準備にかかった。

登山口付近はのどかな農村風景で道路は駐車場まで除雪してあるが、道路の端や田や家の屋根には雪がまだ残っている状況でした。

侵入しないための柵だそう。

最後の者が柵を閉めて急斜面を30分程度進み衣服調整を行い、樹林帯が雪で覆われ登山道がわからないため雪の急斜面を膝上までつかりながら林道に10時40分到着した。

ここで少し休憩を取りワカンやスノーシューを装着して進行した。

夏はチマキザサと木々の登山道を進むことになるが、今回は全面雪で各自好きなところをばらばらに上に向かって楽しく登って行きます。

スキー場側との合流地点に新しい鳥居が設置されている場所で全員14人集合し、10分程度休憩をとり、更に進むと十種ヶ峰の頂上が見えてきました。

十種ヶ峰(別名長門富士)登山道案内図の看板があり、現在地と頂上へのルートが書いてありますが雪のため登山道はわからず方向のみ確認し、更に頂上へ向かって進んでいきます。

看板の少し先に山頂への登山道標板があり左へは山頂への最短コースで右は熊野権現経由と書いてあるが左は雪に足跡がなく足跡のある右

側へと進んで行きました。

急斜面をワカンとスノーシューで勝手にルートを設定し見えている山頂に向かって行きました。

登りは、ふくらはぎに力が入り体力を消費し冬山訓練になります。楽しい登山です。

12時に山頂の尾根道につき12時05分山頂に到着しました。

山頂では風もなく素晴らしい天気。360度のパノラマ、津和野の丸い青野山が見え高岳山、野道山、飯ヶ岳へ続く徳佐盆地、その向こうには安蔵寺山、寂地山系が遠くに見え、日本海側はかすんでいるが島も見え、大蔵ヶ岳、黒獅子山や遠くは由布岳や鶴見岳ま



快晴に恵まれた、十種ヶ峰の頂上で

阿東町の国道9号線沿い長門峡道の駅駐車場に5台の車、14人が9時集合の時間に合わせ出発しました。

全員時間より早く集合したのでトイレをすませ8時45分道の駅を車3台に分乗し出発した。

国道9号の徳佐盆地は徳佐特産のリンゴ販売店のカンバンが多く目に入ります。

この道路の徳佐下長沢の交差点を左折して国道315号を神角登山口に向かいます。

ここの地名の呼び名は難しい地名ばかりで、徳佐や十種ヶ峰、神角など国語の超難解問題集みた

登山準備のためズボン、スパッツ等雪山の準備をして9時30分駐車場を出発した。

登山口にはツキノワグマが出るので注意の表示板があった。ここの熊は冬眠をしないという噂があり、先頭には行かない方がいいかなーなど思いながら後方を進んだ。

登山口を少し進むと湿った雪があるがワカン等はまだまだ必要でなく、そのまま進行していくと山道に柵があり、登山者は「きちんと開け閉めをして下さい」と書かれている表示板がぶら下げてあった。

これはイノシシ防止柵で民家に

で見えて我々14人を大パノラマで歓迎してくれています。

山頂で昼食を取り13時00分、来た道とは反対側の南側の尾根道を下ることにCLが決定し、急斜面の細い幅の道を下ることになりました。

足を置く場所は少なく両側は急斜面で落下すると重傷か天国か地獄かになりそうな場所を慎重に下っていきました。

約30分程度急斜面を下った谷間の雪斜面を雨ガッパのズボンのまま尻ソリで下り快適でしたが、その後は急にズボッと足が雪の中に埋まり、深いところで膝と腰の中間程度まで何度も埋まり歩きづらく、埋まった足を抜くのに非常に体力のいる下山でした。登ってきた道を下山すれば楽で楽しかったのと思い、誰かの判断を恨みながら1時間半後に林道に到着し、休憩をいれ林道を下っていきました。

途中雪道に足跡があり熊の足跡だ、イノシシの足跡だなどワイワイ言いながら全員14人がけがもなく駐車場に15時52分到着しました。

冬山装備を解きながら、集合場所であった長門峡「道の駅」駐車場に向かい、風呂に入って帰る組と、そのまま帰る組の別れ解散となり今回の冬山訓練登山が終了しました。

今回の山はまだ雪があり、尻ソリをしたりピッケルでの滑落訓練をしたりしたりの湿った雪道に足取られながらの、楽しくも体力消耗登山でしたが、訓練にはいい登山でした。

#### 十種ヶ峰参加者(敬称略)

原 広美 (SL)、伊藤久次郎、  
関口興洋、宮城尚志、山田武史、  
内藤正美 (CL)、原野幸雄、  
榎 俊一、椋本逸雄、吉田克己、  
福田陽子、森本信子、赤瀬栄吉、  
井上 薫 計14人

月例山行 3月27日 (山岳関係保全事業)

## 大量のゴミに驚嘆！ 英彦山清掃登山

No.13499 伊藤 久次郎



大量のゴミを集めて、英彦山山頂に集合

日本二百名山の英彦山(1200m)は、古くから日本三大修験道の一つとして知られてきた。

北九州支部では、この英彦山の清掃登山を、数年前から実施してきたが、今年も3月27日実施した。参加者25人が、地元添田町指定のボランティア用ゴミ袋を片手に、3コースから別れて登山開始。それぞれ一般登山道では、ほとんどゴミは見当たらないが、一歩横にそれるとゴミがいっぱい。古い空き缶やビンが目立つ。そして、圧巻は山頂の展望台からの眺めならぬ、展望台真下の崖下



山頂で拾ったゴミに酒トックリが

であった。ザイルを木に掛け下ると、何とあるわあるわ！一升瓶からビールビン、ウイスキービン、酒トックリ、空き缶類等々ゴミの山。がけ下のため、何十年も、いや数百年も前から全く清掃をした

ことがないところ、貝塚ならぬゴミ塚であった。

回収したゴミは、燃えないゴミ、ビニール袋35袋、燃えるゴミ10袋で、ガラスビンが50本位、中には一升瓶が数本、今時一升瓶を持って山に登るなんて考えられないことで、おそらく昔の観光客か登山者かと思われる。英彦山に限らずほかの山でも、休憩所周辺の人の目が届かないところを探せば多くの古いゴミが出てくると思われる。登る途中、山頂まで行き着かないうちに、燃えないゴミのあまりの多さに、8合目付近に5袋のゴミ袋を下山時に回収するため一時デポした。そして、山頂について、今から下山しようとする若者グループに「下山するなら、途中のゴミを持って降りてくれね」と、半信半疑のつもりで頼んだ。そして、我々が下山途中、ゴミ袋のデポ地点を見ると、ゴミ袋はすべてなくなっていた。若者達がすべて持って降りてくれたのである。そして、登山口の指定の場所にちゃんと置いてあった。今の若者もなかなか捨てたもんじやないと思った。今回のような清掃登山は、今後JACがかかえる公

益法人化に向けての一つの事業として、地元や一般登山者も参加できるような行事にしていきたいと思う。(「山」支部だより原稿)

(参加者)  
日向祥剛 原 広美 伊藤久次郎  
西村信子 濱松禮子 高島拓生  
関口興洋 西村俊二 山田武史  
池田曉彦 高城季美子 榊 俊一

椋本逸雄 平野一幸 森本信子  
倉本とき子 橋爪久吉 安田秀世  
縄田正芳 赤瀬榮吉 竹本正幸  
竹本加代子 橋爪明代 井上 薫  
清家幸三 計25人

英彦山・岳滅鬼山～小石原

## 峰入り古道10時間半

No.14523 榊 俊一

かねてより、<sup>がくめきさん</sup>岳滅鬼山(1037<sup>㍿</sup>)から釈迦ヶ岳、大日ヶ岳を経由して小石原の行者堂までの峰入り古道を行ってみたいとの思いがあり、今回平成23年3月23日(水)、私と赤瀬さん(北九435)の2人で行ってきました。

この縦走路はインターネットや地図で調べたのですが時間が各自バラバラで何時間かかるのかわからない状態でした。

今回調査もかねて朝早く出発し、遅くなるよきのため懐中電灯も準備して出かけました。

小石原皿山の伝統産業会館駐車場に6時集合が5時50分到着時には赤瀬さんはすでに着ていました。少し早めに車1台をここに駐車し、もう1台の車で岳滅鬼山入口駐車場へと向かっていきました。早朝であるため対向車もなく英彦山大権現駐車場を更に奥の岳滅鬼山入口駐車場に6時20分到着し、ここで登山準備を行い6時38分出発しました。すぐ先に林道の車止めのゲートがありしばらくは林道を進んでいきます。

今年は雪や風が多かったのでしょうか林道には至るところに風倒木があり道路を塞いでいました。

谷側や山側にう回しながら進んでいきます。

前回、岳滅鬼山まで行ったときは20～25分で林道分岐まで行けたのに、今回は風倒木が多く10分程度時間が多くかかってしまいました。林道分岐より登山道入口



大日ヶ岳で

までも風倒木があり山側をう回しながらやっと7時30分に登山道入口に到着しました。これから本格的な山登りになります。

岳滅鬼峠に7時47分、粉雪が降っています。山道はうっすらと白い粉雪状態で気温0度Cになっていました。これから急登で岩場のロープやはしごを登り岳滅鬼岳(頂上ではない)に8時26分、ここで水分補給のため5分程度休憩して次へと出発し、岳滅鬼山に8時45分到着、写真撮影後今回の行程は長いのですがすぐに出発しました。

浅間山分岐に9時21分、深倉越に10時42分、三角点(869.2m)に10時5分、釈迦ヶ岳まで休憩なしで進み11時15分釈迦ヶ岳(844.2m)着ここで10分程度休憩を取り急登の下りを進み斫石峠に11時51分、大岩に12時00分、急登の登りをあえぎながら大日ヶ岳(829.8m)に12時47分着となりました。ここで昼食のため30分程度休憩時間を入れました。

大日ヶ岳より急登の下りを進み愛敬瀬戸に13時30分、登ったり下ったりの連続を進み林道に14時22分、これより岩場の狭い上部を進んで行く糸ヶ峰に14時30分、笈釣りに14時57分、ここで一番の難所の貝釣りに15時15分です。

この貝釣りは非常に難易度の高い岩場を通過してやっと通過した場所に「ここは危険だから迂回してください」の小さな標識がありましたが、進んできた方向にはなかったように思われました(見落としか?)。これよりまた、急登の登り下りの連続で息を弾ませながら陣尾に15時48分、その後も登り下りの連続を進みやっと小石原の行者堂に16時56分到着しました。

今回休憩時間もほとんど取らずに歩き続け、10時間半で目的地に到着しましたが、大勢で行くと休憩時間も含め11時間以上かかるタフなコースです。行者堂から伝統産業会館駐車場に戻り、車で岳滅鬼山入口駐車場に17時42分到着し、英彦山しゃくなげ荘で汗を流しそれぞれ帰宅しました。

今回の峰入り古道縦走は三郡縦走よりはるかに高度で危険な岩場を通ったり急登の登り下りの連続であり、非常にタフなコースで一部ではヤブこぎ状態の所もありリュックには折れ枝の小さいものがたくさん付着していました。

到着時間を15時半程度にし、休憩時間をいれながらすると登山時間を1時間半程度早める必要があります。今後行かれる方の参考まで)

(地域貢献事業)

## 門司区「山あるきガイドマップ」点検踏査報告

No.13465 大楠 益弘

平成21年11月11日(水)発行の読売新聞で、門司区の「山あるきガイドマップ」が発刊されることを知り、早速入手した。カラーデザインで見やすく、なかなかやるなと思い細部を点検してみた。しかし残念ながら地点名誤記、廃道の記載、登山道の見落としなどがあり、問題があると思われた。早速その日に門司区まちづくり推進課を訪ね、問題点を指摘した。担当者は真剣に話を聞いてくれた。その結果、現地調査を共同で実施することになった。

地元山岳会の風師山早朝登山会、門司こもればい会、戸ノ上山会の協力を得ることができ、合同踏査隊を編成することになった。そして、門司区役所の担当者立ち会いの下で、5回にわたって踏査を実施することができたが、その内容は次のとおり。

(点検コース)

平成21年11月18日(水)

小森江-風師山-奥田峠-城山霊園

11月27日(金)

門司港駅-風師山-奥田峠-城山霊園

平成22年7月23日(金)

門司区役所-風師山-奥田峠-淡島神社

7月27日(火)

淡島神社-城山霊園-戸ノ上山-桃山登山口

9月30日(金)

戸ノ上山大久保登山口-戸ノ上山-滝の観音寺-戸ノ上山登山口

(踏査推進者・敬称略)

(門司区)手塚秀雄、割石徹、石田直寛、(NPO法人グリーンワーク)榎本哲也、川原万衣乃、(矢筈山キャンプ場)尾花昭一、田籠孝行、(風師山早朝登山会)菱田哲郎、小田幸男、(門司こもればい会)丹下治、丹下香代子(2人とも当支部会員)、(戸ノ上山登山会)末吉史忠、馬場基介、浦田和夫、壱岐勝、宝木幸治(一部当支部会員)、(北九州支部)関口興洋、舂木隆、大楠益弘

実施踏査の結果、次のことが明らかになった。つまり地図面と実態との相違が数か所見られたこと。さらには道標が不明確、不整備、登山道で通行困難地区のあることがわかった。別途、県に予算申請をし安全登山を期すこととなった。

「山あるきガイドマップ」の目的は、高齢者、家族連れでも安全で快適な登山をしてもらうことにあ

るので、その目的を実現するため、関係諸団体の合意の下、次のとおり地図の内容を修正することになった。

(イ) 風師山展望台北方、通称風師銀座通りは廃道になっており削除。同時に葛葉口登山道も写真も消去。

(ロ) 風頭における「トイレ」表示。

(ハ) 矢筈分かれの東南方向奥田峠の表示削除。同地点から奥田1丁目方面への登山道表示抹消。同じく同地点からの平山観音院への登山道表記。

(ニ) 淡島神社南方向「奥田峠登山口」の道標は奥田峠に訂正。

(ホ) 城山霊園から大久保登山口までの南側コースは、大久保貯水池北側に変更。

(ヘ) 戸ノ上山への登山口は、大久保バス停側からのルートを中心にとする。

(ト) 戸ノ上山から滝の観音寺へのルートは、難易度が高い旨の表示を。

(チ) 畑登山口、吉志登山口の表示は削除。

(リ) 門司駅までのゴールは、戸ノ上神社、陸上競技場経由を変更、戸ノ上神社柳御所、風呂の井戸経由とする。

(ヌ) モデルコースのコースタイムも再調整した。

(修正作業経緯)

(二)、(ホ)、奥田峠の表示のある地点は、古くは登山道の交差するところであったので、峠と言えないが、そもそもその地域は小森江であって、奥田地区ではないこと。また、麓の淡島神社社務所に尋ねたところ、地図面で奥田峠登山口とある地点周辺が奥田峠であるはずとの返事を得た。中央分水嶺踏査報告(154ページ)によってもその周辺であることが確認できた。したがって奥田峠の表示は削除と決まった。また、この地点から奥田1丁目へ通じているはずの登山道は、11月27日の調べにより通行不能であることがわかった。後日、確認のため門司山歩会有志で踏査したところ、100m未満までは石段があるが、その先は、道が消えていることがわかったため、削除することとなった。

(ホ) 大久保貯水池南側のコースは、自動車道の通行となるため健康面と安全確保のため、北側の遊歩道を通行するよう変更した。

(ヘ) 寺内バス停からの民家の間を通る登山道は避け、大久保バス停側からの登山道をメインとした。



(ト) 滝の観音へのコースは、従来はメインルートの一つであったので、下山ルートを踏査した結果、多湿の岩場が多く、スタンスの確保にやや難があり、初心者には安全面で問題があると判断した。

(チ) 畑、吉志の登山道は、入山者の減少によってルートの確認が難しくなっているため、一般向きではないと判断、削除した。

(リ) 戸ノ上神社から陸上競技場を経由するルートは分かりづらく、また柳御所をルートに織り込むべきとの判断で順路を変更した。

(ヌ) コースタイムを再検討し、若干の修正をした。

初級ガイドマップが広範囲に頒布された結果、登山者が急激に増えてきたため、安全かつ確実な登山道を確認し、高齢者、家族連れにも安心して登山を楽しんでもらうため、多少強引に修正した面はあるが、11月27日に改訂版ができあがり、再度広範囲に頒布する運びとなった。このことを契機に関係諸庁、山岳団体がともどもに協力し合い、地域振興を推進を進めることができるならば、わが支部の有意義な活動、事業の一つとなるであろう。引き続き小倉北区、小倉南区の「山あるきガイドマップ」を製作するように働きかけているところである。

## 門司山歩会 月例山行のお知らせ

No.13465 大楠 益弘

登山教室受講者の方達が結成した山の会です。次のとおり4月～12月の山行を計画しました。支部会員からの参加、大歓迎です。ピジター費用は、500円です。前の週の木曜までに大楠宛に申し込んで下さい。TEL090-3196-8939

### 山行計画(4月～12月)

期 日	行 先	集合場所	交通機関	備 考
4月24日(日)	野峠経由 犬ヶ岳先鋒一ノ岳	門司駅北口 7:30	マイクロ バス	〈一ノ岳〉以前登った犬ヶ岳とは趣が違い、ミツバツツジがゆっくり楽しめるコースです。お馴染みのベテランの日本山岳会西村夫妻が案内してくれます。
5月22日(日)	<small>かならせやま</small> 鹿嵐山 (宇佐郡院内町)	門司駅北口 7:30	マイクロ バス	〈鹿嵐山〉のんびり登れる山です。〈一ノ岳〉と同様西村夫妻のガイドでシャクナゲ観賞が期待できそうです。
6月4日(土) ～5日(日)	扇ヶ鼻、三俣山 (九重観光ホテル泊)	門司駅北口 7:30	マイクロ バス	〈扇ヶ鼻、三俣山〉高山植物、珍しい山野草の宝庫です。1泊してたっぷり時間をかけて登れます。
7月24日(日)	井原山 (糸島市)	門司駅北口 7:30	マイクロ バス	〈井原山〉西村夫妻のガイドで、キツネノカミソリを観賞します。
8月21日(日)	吉志経由 戸ノ上山	スーパー丸 和正面玄関 8:00	タクシー 利用	〈戸ノ上山〉あまり入山者はいませんが、ゆっくりと楽しめる比較的楽なコースです。
9月18日(日)	貫山 (平尾台)	門司駅北口 8:00	マイカー 利用	〈貫山〉日にちを変更しています。この日を「山の日」として、全国的にアピールすることになりました。
10月22日(土) ～23日(日)	九重・大船山 (法華院山荘泊)	門司駅北口 7:30	マイクロ バス	〈大船山〉紅葉のシーズンです。初日は温泉もゆっくり楽しめます。
11月6日(日)	福智山	門司駅北口 8:00	マイカー 利用	〈福智山〉久しぶりに登ります。
12月10日(日)	皿倉山忘年山行 (日本山岳会と交流 登山)	後日連絡	JR利用	〈皿倉山〉日本山岳会との交流登山です。下山後当会で忘年会開催を考えています。

(お願い) マイクロバス利用も多いので、参加申込は前の週の木曜日または金曜日までにお願いします。

詩

No.13722 藤田 傳

萩尾常利(北九413)と関の山へ

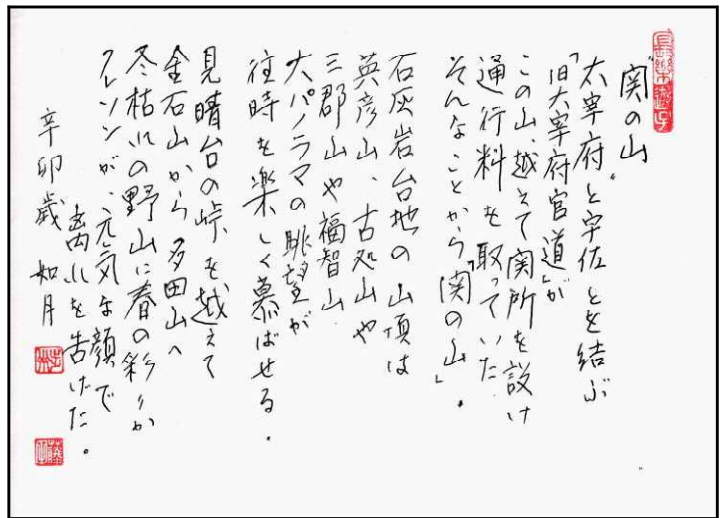
去る2月6日、関の山山頂は、地元庄内町の関の山登山会主催のぜんざい会でご馳走になり歓談しきり。多田山(大山)への道沿いでは、毎年大きな松ボックリを拾います。

山行一筆まで

不一



関の山山頂で(左が藤田氏)



◇◇◇ 報告・お知らせなど ◇◇◇

「岳人のつどい」に参加

本年1月22日(土)太宰府市のまほろばホールで、福岡支部主催による新年会を兼ねた「岳人の集い」が開催され、北九州支部から大庭支部長以下14人が参加した。

当日は午後2時から開会。まず副島福岡支部長のあいさつと、特別ゲストの重廣恒夫氏(日本K2登山隊サミッター、JAC関西支部長)の映画解説につづいて、K2(8611m)に挑んだ日本隊の記録映画『白き氷河の果てに』が上映された。

上映会終了後、同会場で「岳人のつどい」新年会(懇親会)が開かれ、映画でも登攀リーダーとして紹介された副島支部長の乾杯の音頭で宴に入り、地元在住の当時の登山隊関係者や支部会員、登山愛好家たちがそろって新年を祝い、山の話に花を咲かせた。

(北九州支部からの参加者)  
大庭常生 原 広美 伊藤久次郎 関口興洋 藤田 傳  
宮城尚志 山田武史 内藤正美 丹下 治 小林富雄  
大木康子 柳 俊一 丹下香代子 赤瀬榮吉



重廣氏を囲んで記念撮影(撮影:伊藤Q)

支部事務局担当者会議の報告

2月5日(土)~6日(日)、支部事務局担当者会議が本部会議室(5日)と主婦会館プラザエフ(6日)で開催されましたので報告します。

○当面の最大課題は新法人(公益法人or一般法人)移行であるが、プロジェクトチームで検討してきたそれぞれのメリット、デメリットを踏まえて理事会で検討した結果「公益法人」を選択したい、との方向付けが出された。

公益法人を選択した場合、事業計画及び予算策定にあたり、支部としてどこまで公益事業を盛り込むかが議論的となった。これに対し、日本山岳会は現状でも十分公益事業を行っており、新法人(公益社団法人)に移行しても、特に構えて新たな事業を行うことは必要ないとの説明があった。

なお、現在会員1人あたり年間2,500円の助成金が支給されているが、この制度は平成23年度までとし、それ以降は次のような仕組みで運用したい旨の説明があった。

会員に対し一律1,000円を支給。その他は支部から事業計画・資金計画の提出を受け、それに対して本部から事業資金を助成するというシステムになるとのこと。

○その後、3月12日開催された平成22年度第2回通常総会で、「新法人移行の選択(公益社団法人)承認の件」が審議され、委任状を合わせた賛成が1/2を超えて本議案は承認された。

(関口 興洋)

**会務報告****平成23年3月定例委員会報告**

日時：平成23年3月2日(水曜日) 18:30～

場所：毎日会館1F信州観光センター内会議室  
(小倉北区紺屋町13-1)

出席：大庭、大楠、伊藤、関口、馬場、板倉、山田、磯野、高島、大城戸

欠席：日向

**【議題】**

1. 事務局担当者会議の報告(関口)  
平成23年2月5日、JAC本部。法人改革対応プロジェクトについては詳細な報告がなされた。
2. 会員の異動と会費納入状況について
3. 支部会費未納者(3期以上)の処遇について
4. 第12回通常総会について(役員人事、日程、会場の選定ほか)
5. 山行委員の選出について
6. 山行報告  
1月16日(日) 足立山～戸ノ上山縦走(24人参加)  
2月20日(日) 十種ヶ峰(冠山から変更)
7. 山行・行事計画  
3月27日(日) 英彦山 清掃登山  
4月17日(日) 陶ヶ岳 岩登り訓練  
5月1日(日) 雷山～井原山縦走  
5月14日(土)～16日(月) 韓国「智異山」故室津氏の追悼登山  
5月28日(土)～29日(日) 英彦山 山開き  
5月28日(土)～29日(日) 吾妻山～比婆山 広島支部との交流登山
8. 次回支部報の発行について
9. その他 以上

**会員異動**

## ○ 本部会員

岩本 澎 10963 退会(平成23年4月1日付)

## ○ 支部会員

矢山 功 北九202 除籍(平成23年4月1日付)

文 相淑 北九218 同上

江副定男 北九239 退会(平成23年4月1日付)

常守貞子 北九326 同上

松川信子 北九418 同上

**山のニュース**

(最近の新聞などのニュースから)

**山ガールブーム 地域差が顕著に**

2010年度の北アルプス山小屋協会総会が2月25日、黒部市宇奈月温泉のホテルであり、ブームの「山ガール」に関する報告が相次いだ。

富山、長野、岐阜の3県の5組合が参加。各組合から「昨年の登山シーズンは天候に恵まれ、宿泊客はおおむね好調だった」と報告。カラフルなウェアに身を包んだ山ガールについて「北アルプスでは立山連峰や、穂高岳のベース(出発拠点)である濁沢(長野県松本市)などで目立ってきている」と実情を語った。(2月26日 東京新聞)

**植村直己冒険賞に栗秋さん(福岡市)**

冒険家の故植村直己氏の功績を継承するため、故郷の兵庫県豊岡市が優れた冒険家を毎年表彰する「植村直己冒険賞」に2月16日福岡市東区の登山家、栗秋正寿さん(38)が選ばれた。15回目となる選出で九州の受賞者は初めて。栗秋さんのプロフィールについては、2頁の総会記事欄に掲載。

(2月17日 西日本新聞)

**筑波山、入山規制  
解除は余震終息後(つくば市)**

筑波山では、登山道で落石があり、下山中の女性(67)が死亡した。現在も安全が確認できないとして、徒歩による入山を禁止している。筑波山神社にある石製の鳥居も中央部が割れ、周辺を歩くことを禁止している。市によると、規制解除は余震が収まった後になる。(4月3日 東京新聞)

**震災後、20火山活発化  
気象庁 富士山など監視継続**

気象庁は4月8日、東日本大震災のあった3月の全国の地震・火山活動概況を発表。大震災発生後、地震が増加するなど活動が活発化した火山は全国で少なくとも20火山に上ることを明らかにした。

同庁は「直ちに噴火につながるような兆候はない」とし、大部分は平常の状態に戻ったとしているが、岩手山(岩手県)や秋田焼山(秋田県)、富士山(山梨、静岡両県)、箱根山(神奈川、静岡両県)、焼岳(岐阜、長野両県)については「大震災前のレベルにまでは戻っていない」として、引き続き監視する。

(4月9日 東京新聞)

# 山行計画のご案内

## 5月の山行

1. 雷山～井原山縦走 (ミツバツツジ観賞)

とき 5月1日(日)  
集合 午前9:00。雷山観音の駐車場  
行程 雷山観音駐車場～清賀の滝～上宮～雷山頂上～井原山～アンの滝～山の家～雷山観音駐車場(5～6時間)

申込 山田武史(TEL/FAX092-844-3563)  
締切 4月20日

2. 韓国「智異山」(1,915<sup>メートル</sup>)  
室津健次会員追悼登山

とき 5月14日(土)～16日(月)  
担当 山田武史(TEL/FAX092-844-3563)  
13人参加決定、締切済み。

3. 英彦山山開き

とき 5月29日(日)  
東日本大震災発生被害により、今回の山開き行事の参加は、前夜祭の参加を自粛し、29日のみの参加とすることにいたしました。

4. 吾妻山～比婆山

(広島支部との交流登山)

とき 5月28日(土)～29日(日)  
日程 5月28日(土)  
07:30 小倉発  
08:00 下関 出発(マイカー利用)  
11:00 池の原 着  
11:30 登山口出発 吾妻山登山  
14:00 下山  
15:00 六ノ原キャンプ場着 広島支部との交流

5月29日(日)  
07:00 六ノ原～出雲峠～烏帽子山～比婆山御陵～立烏帽子山  
14:00 六ノ原に下山  
18:00 下関 着

## サロンルーム 毎月第4水曜日

5月のサロンは、25日(水)  
6月のサロンは、22日(水)  
7月のサロンは、27日(水)

時間 午後6時30分から  
場所 小倉北区魚町「コールド」  
(魚町銀天街、酒房武蔵より西へ約30m)  
費用 3,000円前後(ワリカン制です)



申込み 内藤正美

## 6月の山行

阿蘇・杵島岳・往生岳

九州5支部集会の記念山行(別途計画を掲載済)  
とき 6月4日(土)～5日(日)  
申込み 山田、関口

## 7月の山行

犬ヶ岳一ノ岳(1,124<sup>メートル</sup>)～

求菩提山(782<sup>メートル</sup>) (歴史探訪)

とき 7月23日(土)  
ところ 豊前市 犬ヶ岳、求菩提山  
集合 求菩提山登山口駐車場 8:30  
行程 登山口～恐淵～犬ヶ岳一ノ岳～求菩提山～登山口  
歩行距離10km、累積標高差950m  
申込み 丹下 治 (TEL、FAX093-391-8193)

## 8月の山行

夏休みのため、各人自由に山行を楽しんでいただくため、月例山行はおやすみです。

(個人山行計画)

## 劔・源治郎尾根をめざす!

次の6人で挑戦することになりました。

武永計介 江頭精一  
西村信子 西村俊一  
宮城尚志 中野洋子

青年部ひとり 武永計介

## 編集後記

○ 地上最大級の大地震が東日本を襲いました。これが九州に来ていたら、どうなっていたらと思う、今後の備えをしておかねばと、あらためて思う次第です。被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。  
○ さて、前回、支部報の編集担当募集を呼びかけましたが、全く反応なし。いつになったら交代できるのだろうか心配しております。総会後の新委員に望みを託して、がんばります。 伊藤Q

○ 山の原稿は、  
〒826-0032 田川市西平松11-8  
伊藤久次郎宛。TEL/Fax 0947-42-2772  
Eメール原稿(写真も含む)は、  
アドレス [rw4ux6@bma.biglobe.ne.jp](mailto:rw4ux6@bma.biglobe.ne.jp) です。